

1月



阿修羅の流れ



銚子大滝



## あの日のあの川 リレー日記 ～第12話～



あの日のあの川  
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

### 第12話主人公 有木 吾郎

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直) 研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：埼玉県荒川)

### 「奥入瀬溪流の思い出」

いつのこと？： 大学生時代

どこの川？： 奥入瀬川

奥入瀬川は十和田湖に源を発し、青森県を流れ太平洋に注ぐ河川である。十和田湖からの約14kmは奥入瀬溪流と呼ばれ、国の天然記念物に指定されている。

私は大学院1年の夏休みに奥入瀬溪流を訪れた。美しい川の流れを横目に、緑のトンネルの中をゆったりと散歩した。鮮やかな深緑と川のせせらぎを全身に感じ、心が洗われたのを覚えている。特に印象に残っているのが奥入瀬溪流随一の景勝である「阿修羅の流れ」である。勢よく流れ出る清流が生み出す白波と、それを包み込む深緑とのコントラストがとても美しかった。川の実感できる、全国有数の景観スポットではないかと思う。また、滝も点在しており、中でも銚子大滝の迫力には圧倒された。ナイアガラの滝に似ていることから、「ジャパニーズ・スモール・ナイアガラ」と呼ばれているそうである。そのほか、巨大な一枚岩や多種多様な動植物など見所が満載であり、川好きにはぜひ訪れてもらいたい場所である。

また、水源である十和田湖の景色も素晴らしかった。「十和田ブルー」と呼ばれる青い湖面はキラキラと輝き、見ているだけで清々しい気分になれた。お昼に食べた天然のヒメマスはとても美味しく、今で

もその味を覚えている。

私は自然が大好きで、毎年夏に一人旅に出かける。騒々しい都会での生活に疲れたとき、一人旅に出かけると心がリセットされるように感じる。そして本当の自分に戻れる気がする。この年は青森県を3泊4日で訪れ、レンタカーで気の向くままに各地を訪れた。青森の美しい自然と澄んだ空気、そして美味しい郷土料理を堪能することができ、最高の旅になった。レンタカーを借りて旅するのが初めてだったということもあり、今まで経験した旅の中でも特に印象に残っている。

私は現在、川を対象に研究を行っている。森林間伐によってもたらされる河川流量変化に注目し、その経済的な効果を調査している。自然環境に貢献できる研究がしたい、というのが現在の研究テーマを選んだ動機である。しかし、都会での生活に慣れてくると、自然に対する愛着を忘れてしまうことがある。都会で大自然に触れる機会はほとんどなく、その存在を忘れてしまうのかもしれない。だから私は毎年一人旅に出かけ、自然と触れ合うようにしている。大自然を目と心に焼き付け、本当に大切なものは何か、守るべきものは何かを忘れないようにしている。奥入瀬溪流の美しい流れは、1年以上たった今でも鮮やかな映像として私の心の中に残っている。この美しい自然を後世に残していくことが、私たちの使命であると感じている。

私も来年からはいよいよ社会人である。環境問題の解決に貢献したいという思いで素材メーカーを選んだ（素材には世界を変える力があるんです）。社会に出てからはどんなにつらい状況に追い込まれても、自分に与えられた使命を果たさなければならないと思っている。でも、もしその覚悟が揺らぎそうになったときは、再びこの川を訪れてみようと思う。

（次は高鳥圭亮さんにバトンを託します）



緑のトンネル



十和田湖



両岸に迫る断崖